

鳥取県では、T-G2 レベルの「NE-STな家」を推奨します。

断熱性能、気密性能を3段階のレベルを設定しました。鳥取県では、経済的でかつ快適に生活できる T-G2 レベルの家づくりを推奨しています。

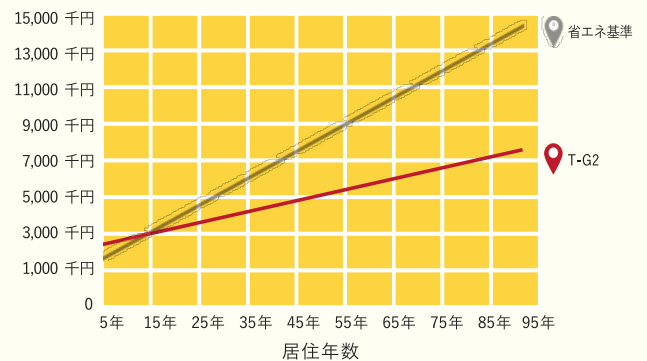
	国の省エネ基準	ZEH	とっとり健康省エネ住宅性能基準「NE-STな家」		
			T-G1	T-G2	T-G3
備考	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑えるために必要な最低限のレベル	経済的で快適に生活できる推奨レベル	優れた快適性を有する最高レベル
断熱性能 UA値 *1	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値 *2	-	-	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約 10% 削減	約 30% 削減	約 50% 削減	約 70% 削減
世界の省エネ基準 (UA 値) との比較					

*1_UA 値：建物外表面から外部に逃げる熱量を示す指標。値が小さいほど熱が逃げにくく、断熱性、省エネ性が高い。
 *2_C 値：建物の床面積当たりの隙間面積を示す指標。値が小さいほど気密性が高い。

「NE-STな家」は、コストパフォーマンスがいい。

高断熱・高气密の家にするには、設計・建築におけるインシヤルコスト(初期費用)は多少かかります。しかしその分、少ない冷暖房費ですみますのでランニングコスト(月々の継続的費用)を抑えることができます。T-G2 レベルの「NE-ST な家」の場合、計算上では約 15 年でプラマイゼロに。以降のことを考えると、より経済的になります。

居住年数における断熱工事費 + 累積冷暖房費



「NE-STな家」には、最大150万円の補助金が。

「NE-ST な家」にすると県から認証と「とっとり住まいる支援事業」により補助金を受けることができます。

※とっとり住まいる支援事業とは県内工務店により一定以上の県産材を活用する新築戸建て住宅が対象となる補助金です。

T-G1	T-G2	T-G3
定額10万円	定額30万円	定額50万円
最大110万円	最大130万円	最大150万円

「NE-STな家」をつくるには、知識と技術が必要です。

「NE-ST な家」をつくれる設計・建築業者の情報等、詳しくは、HP (ホームページ) をご覧いただくか、鳥取県の相談窓口へお問い合わせください。

県庁住まいまちづくり課 TEL 0857-26-7398 FAX 0857-26-8113

とっとり健康省エネ

検索

県庁公式ホームページ「とりネット」

<https://www.pref.tottori.lg.jp/283929.htm>

